

方針	4	計画行政の推進			
基本的取組	4-1	PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営	担当課	企画経営課	連絡先 042-481-7362
プラン	25	PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営			

### 1 プランの内容

毎年度の行政評価による振り返り評価を活用した各種取組の見直し、改善を推進するとともに、振り返り評価の結果を市民に分かりやすく公表していくことにより、質の高い市民サービスの提供や市政に関する透明性の確保のほか、職員の気付きによる更なるPDCAマネジメントサイクルの推進につなげていきます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施策評価及び事務事業評価の実施</li> <li>◆行政評価の見直し検討</li> <li>◆行政評価支援システムの運用に関する検証を踏まえた対応</li> </ul>
-------	-------	--

### 2 取組状況

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政評価支援システムを活用し、行政評価(施策評価・事務事業評価)を実施します。</li> <li>○行政評価を実施し、結果を公表します。</li> <li>○行政評価支援システムの運用に関する検証を踏まえた、次年度以降の行政評価の見直しの検討を行います。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政評価支援システムを活用して、行政評価(施策評価・事務事業評価)を実施しました。</li> <li>○行政評価の見直しについては、令和5年度を初年度とする次期総合計画の策定を見据え、今後に向けた課題の把握や、取組の方向を整理するための項目を設定し、評価を実施しました。</li> <li>○基本計画の施策体系に基づき、施策評価(31施策)及び事務事業評価(全事務事業735事業のうち、基本計画事業97事業)を実施し、市ホームページ等で評価結果を公表しました。</li> <li>○令和3年9月にリースアップを迎える行政評価支援システムについて、施策評価及び事務事業評価の連動性や費用対効果等を勘案し、運用を終了することとしました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各施策・事務事業の評価結果を令和4年度の予算編成において有効活用できるよう取り組みます。</li> <li>○行政評価支援システムのリースアップ(令和3年9月)による運用終了に伴い、次年度以降の行政評価実施に向け、見直しの検討を行います。</li> </ul>
	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各施策・事務事業の評価結果を令和4年度の予算編成作業において活用します。</li> <li>○次年度以降の行政評価実施に向け、見直しの検討を行います。</li> </ul>
後 期	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財務会計システムと行政評価支援システムの連動によるメリットを生かし、財務会計システムでの令和4年度予算の見積入力において、評価結果の参照機能の活用を図りました。</li> <li>○令和3年9月末をもって行政評価支援システムのリース期間が満了となったため、今後の行政評価の方法について、評価の効率化を念頭に置きつつ実効性にも留意して、評価シートについて検討しました。</li> </ul>

### 3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度においては、前年度の振り返り評価を後期基本計画の進行管理や令和4年度の予算編成において活用することで、後期基本計画の着実な推進につなげました。</li> <li>○新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市民生活や市財政等への影響を踏まえ、基本計画に位置付けた各施策・事業に関する今後の進捗調整や取組の見直しにつなげる振り返り評価を行いました。</li> <li>○次年度以降においても引き続き、行政評価の実効性の向上や効率化を図るため、行政評価の見直しに関する検討を進めます。また、行政評価支援システムのリース期間が満了となったことから、評価シートの形式や評価項目を具体的に検討します。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課	財政課, 企画 経営課	連絡先	042-481-7376
基本的取組	4-1	PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営				
プラン	26	補助金と受益者負担の適正化				

1 プランの内容		
各種団体・個人等の公益的な活動を促進するために補助・交付している補助金等について、これまでに取り組んだ評価の結果に基づく見直し等に取り組めます。また、使用料・手数料における負担水準についての在り方の検証・適正化に取り組めます。		
年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆補助金等交付状況の公表</li> <li>◆補助金等評価の結果に基づく見直し等の取組推進</li> <li>◆受益者負担の在り方検証</li> </ul>

2 取組状況	
前 期	<b>【取組計画】(PLAN)</b> ○令和2年度における補助金等の交付状況の公表に向けた準備を行います。 ○補助金等評価の結果において、検討継続とした補助金等について、進行管理を行うとともに、行革プランに位置付けた個別プラン「29 事務事業等の見直し, 改善による経常経費の縮減」(以下「経常経費の縮減」という。)の取組と連携し、見直しに取り組めます。 ○受益者負担の在り方検証のため、使用料及び手数料の現状の把握に取り組めます。
	<b>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</b> ○令和2年度補助金等交付状況一覧表の公表に向け、作成を開始しました。 ○補助金等評価の結果において、検討継続とした補助金等について、「経常経費の縮減」と連携した取組の進め方を決定し、令和3年度において実施していくこととしました。 ○受益者負担の在り方検証のため、令和2年度決算における使用料及び手数料の現状の把握に取り組めました。
	<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる</b>
	<b>【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)</b> ○令和2年度補助金等交付状況一覧表を作成し、市ホームページで公表します。 ○補助金等制度の新設・拡充については、予算編成過程の中で基準を活用した精査・検証を行います。
	<b>【取組計画】(PLAN)</b> ○令和2年度における補助金等の交付状況を公表します。 ○補助金等評価の結果において、検討継続とした補助金等について、進行管理を行うとともに、「経常経費の縮減」の取組と連携し、見直しに取り組めます。 ○次年度予算編成において制度の新設・拡充を検討する補助金等について、補助金等評価シートを活用し、精査・検証を行います。
後 期	<b>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</b> ○令和2年度補助金等交付状況一覧表を作成し、市ホームページで公表しました。 ○補助金等評価の結果において、検討継続とした補助金等について、前期に引き続き、「経常経費の縮減」の取組と連携した確認・検討に取り組めました。 ○次年度予算編成において制度の新設・拡充を検討する補助金等について、補助金等評価シートの基準等を踏まえながら、精査・検証を行いました。

3 年次評価及び総括	
年次評価	<b>【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)</b> ○令和2年度補助金等交付状況一覧表を市ホームページで公表し、補助金等の交付の透明性を図りました。 ○受益者負担の在り方検証については、市民生活への影響等を考慮しつつ、適時適切に取り組む必要があります。
A	

方針	4	計画行政の推進	担当課	企画経営課	連絡先	042-481-7362
基本的取組	4-1	PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営				
プラン	27	行財政改革推進会議の活用				

1 プランの内容		
<p>行財政改革の取組を効果的・効率的に推進するため、広範な視点から意見を聴取する仕組みを活用し、調布市公共施設等総合管理計画に基づく取組や官民連携による取組の推進を図ることで、質の高い市民サービスの提供につなげます。</p>		
年度別計画	令和3年度	◆行財政改革推進会議における意見聴取等の実施

2 取組状況	
前 期	<p>【取組計画】(PLAN)</p> <p>○行財政改革推進会議のこれまでの実施実績や、市を取り巻く状況を踏まえ、テーマを検討・決定します。 ○行財政改革推進会議において広範な視点から意見を聴取することで、市における公共施設等マネジメントや官民連携に関する取組の推進につなげます。</p>
	<p>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</p> <p>○今年度における公共施設等マネジメントの推進に関する取組や、官民連携の推進に関する取組の庁内での検討状況などを踏まえ、それらに関する意見聴取を行うため、行財政改革推進会議を活用することとし、意見聴取を行う内容や、会議の開催時期についての検討・調整に取り組みました。 ○庁内における取組の進捗状況や取組予定などを踏まえ、次の行財政改革推進会議については、下半期の開催に向けて調整することとしました。</p>
	<p>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○</p>
	<p>【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)</p> <p>○行財政改革推進会議を活用し、公共施設等マネジメントの推進に関する取組や、官民連携の推進に関する取組についての意見聴取を行うことで、その後の庁内における取組の推進につなげていきます。</p>
	<p>【取組計画】(PLAN)</p> <p>○行財政改革推進会議のこれまでの実施実績や、市を取り巻く状況を踏まえ、次期のテーマを検討・決定します。 ○行財政改革推進会議において広範な視点から意見を聴取することで、市における公共施設等マネジメントや官民連携に関する取組の推進につなげます。</p>
後 期	<p>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</p> <p>○行政改革推進会議において、個別施設の在り方・方向を示す(仮称)公共施設マネジメント計画の策定のほか、行革プラン2019の取組の推進等に関する意見聴取を行うことで、限りある経営資源を最大限に活用した質の高いサービスを市民に提供するための参考とする予定でしたが、事業進捗の状況等を理由に令和3年度は会議の開催を見送りました。</p>

3 年次評価及び総括	
年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	○令和3年度においては、行財政改革推進会議を開催できませんでしたが、令和4年度は、「官民連携の推進」をテーマとして、行政外部の広範な視点からの意見を聴取し、公共施設等総合管理計画に位置付けた基本方針等に基づく公共施設等マネジメントの推進や次期行革プランの策定に活用していきます。

方針	4	計画行政の推進	担当課	財政課	連絡先	042-481-7376
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	28	財政規律ガイドラインに基づく財政運営				

**1 プランの内容**

財政規律ガイドラインに基づき、不断の見直し、改革・改善を推進するとともに、統一的な基準に基づく財務書類等の作成、検証も踏まえて、持続可能で効果的な市政経営を推進します。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ガイドライン設定項目に基づく進行管理（予算編成・予算執行）</li> <li>◆固定資産台帳の更新及び財務書類の作成</li> </ul>
-------	-------	---

**2 取組状況**

前 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財政規律ガイドラインに基づき、適正な予算執行を推進します。</li> <li>○令和2年度決算固定資産台帳を作成するとともに、統一的な基準による財務書類等（令和2年度決算分（一般会計等及び全体））の作成に取り組みます。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、令和3年度予算の執行方針を通知し、適正な予算執行を推進しました。</li> <li>○令和2年度決算の分析として地方財政状況調査（決算統計）、健全化判断比率等の算定を行い「令和2年度決算概要」を作成しました。</li> <li>○令和2年度決算の分析を踏まえ、前年度繰越金活用計画を策定し、令和2年度の実質収支については、基金積立てに優先的に財源配分することとし、令和3年度一般会計補正予算（第4号）において、財源措置し、財政基盤強化を図りました。</li> <li>○令和2年度決算固定資産台帳の作成に向け、公有財産台帳や備品台帳の更新情報、全庁各課で所管する固定資産台帳の更新情報の収集を行いました。</li> <li>○一般会計等及び全体財務書類等の作成に向け、令和2年度の一般会計や各特別会計の伝票ごとの仕訳情報、整理仕訳情報や非資金仕訳情報、連結法人の決算書類を収集など、各種情報の確認・整理を行いました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる ○	
	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症への対応や今後の減収影響を見据え、財政規律ガイドライン設定項目に基づく適正な進行管理によって、持続可能で効果的・効率的な財政運営に努めます。</li> <li>○引き続き、令和2年度の一般会計や各特別会計の伝票ごとの仕訳情報、整理仕訳情報や非資金仕訳情報など、各種情報の確認・整理を行い、統一的な基準による財務書類等（令和2年度決算分（一般会計等、全体及び連結））を作成するとともに、公表します。</li> </ul>
後 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍の影響の長期化に伴い想定される財政状況の悪化を踏まえ、適正な予算執行を推進するとともに、令和2年度決算の分析や、財政規律ガイドラインを踏まえた次年度予算編成を行います。</li> <li>○統一的な基準による財務書類等（令和2年度決算分（一般会計等、全体及び連結））を作成・公表します。</li> <li>○令和3年度決算に係る財務書類の作成に向け、令和3年度決算固定資産台帳の作成準備に取り組みます。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○補正予算編成通知等を通じて、コロナ禍の影響の長期化に伴う財政状況を全庁で共有しながら適切な予算執行を推進するとともに、財政規律ガイドラインを踏まえた、令和4年度予算編成に取り組みました。</li> <li>○統一的な基準による財務書類等（令和2年度決算分（一般会計等、全体及び連結））と令和2年度決算固定資産台帳を作成し、市ホームページにおいて公表しました。</li> <li>○令和3年度決算に係る財務書類の作成に向けた令和3年度決算固定資産台帳の作成準備に取り組みました。</li> </ul>

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括（評価の理由、取組による成果・効果）、次年度以降の取組の方向性】（CHECK・ACTION）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度の実質収支を基金積立てに優先配分し、財政調整基金や公共施設整備基金などの充実を図りました。</li> <li>○コロナ禍に伴う影響や社会経済状況の変化を踏まえながら、新型コロナウイルス感染症への対応として3つの柱に基づく取組を推進しました。</li> <li>○予算編成・予算執行・決算分析などにおいて、「財政構造見直し」、「財政基盤強化」、「連結ベース債務残高縮減」の3つの視点に基づく進行管理を行い、不断の見直し、改革・改善による財政構造の改善と健全性維持につなげていきます。</li> <li>○今後も引き続き、固定資産台帳の更新を行うとともに、統一的な基準による財務書類等を作成します。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課	企画経営課, 財政課	連絡先	042-481-7362
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	29	事務事業等の見直し, 改善による経常経費の縮減				

**1 プランの内容**

今後も様々な財政需要が見込まれる中で、質の高い市民サービスを将来にわたり持続的に提供していくため、既存の事業に関する様々な視点での見直し、改善により、経常経費の縮減に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆既存事業の検証等に基づく経常経費の抑制・縮減</li> <li>◆経常経費縮減の観点を踏まえた次年度予算編成</li> </ul>
-------	-------	---

**2 取組状況**

前 期	【取組計画】(PLAN)	○既存事業に関する見直し, 改善による経常経費の抑制・縮減に向けた検討を行います。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	○経常経費の抑制・縮減に関する取組の方向について, 庁内各部署に周知するとともに, 既存事業に関しての見直し・改善について, 所管部署と協議しました。 ○取組の方向を検討し, 取組に対する全庁の共通認識を図りました。 ○抑制・縮減の取組の視点から, 関連各課の事業の状況確認のためのヒアリングに向けた準備を行いました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	○経常経費の抑制・縮減の観点を踏まえた, 令和4年度当初予算編成を行います。
	【取組計画】(PLAN)	○既存事業に関して見直し, 改善を図り, 経常経費の抑制・縮減に向けて取り組みます。 ○経常経費の抑制・縮減の観点を踏まえた, 令和4年度予算編成を行います。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	○経常経費の抑制・縮減に関する取組趣旨の説明と併せて, 事業の状況確認のためのヒアリングを行いました。 ○令和4年度に向けた視点及び複数年次の視点で, 対象事業に関する見直し余地等を検討し, 関係各課と調整したうえで, 令和4年度予算に反映しました。 ○経常経費の抑制・縮減の観点を踏まえたほか, 監理団体のうち福祉分野の団体を対象として, 市からの委託事業及び補助事業に関する事業検証を実施しながら, 令和4年度予算編成を行いました。

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	○経常経費の抑制・縮減に関する取組を推進するため, 関連部署と連携して調整を図りました。 ○複数年次の視点も含めて, 経常経費の抑制・縮減の取組を継続的に推進する必要があるため, 引き続き, 関連部署と連携して取り組んでいきます。

方針	4	計画行政の推進	担当課	財政課、関係各課	連絡先	042-481-7376
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	30	積極的な財源の確保と財政負担の抑制				

1 プランの内容	
調布市が発行する各種刊行物における広告料収入の確保のほか、寄附による財源確保の取組の検討・活用に取り組みます。また、官民連携による財源確保や財政負担の抑制に資する取組を推進します。	
年度別計画	令和3年度 ◆各種刊行物における広告料収入の確保 ◆官民連携による財源確保や財政負担の抑制に関する取組の検討、実施 ◆寄附による財源確保の方策の検討

2 取組状況	
前期	【取組計画】(PLAN) ○新たな広告媒体の導入など、様々な手法による財源確保策を検討します。 ○基金に関する積極的な情報発信を行い、寄附の促進に努めます。 ○国・東京都の補助金を最大限活用するとともに、民間事業者による助成金の確保に努めます。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK) ○市報・市ホームページ・その他各種印刷物に広告を掲載し、広告料収入を確保することができました。 ○新たな広告媒体として、広告付地図庁舎案内板等(デジタルサイネージ)への広告掲載について、所管課と導入に向けた調整を行いました。 ○広告掲載に係る事務の効率化の取組として、調布市広告選定委員会の手続きの簡素化に向け、印刷物等への広告掲載に係る要綱改正の準備に取り組みました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる ○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION) ○印刷物等への広告掲載については、下半期に発行するものについても積極的に取り組んでいきます。 ○基金について、市報への掲載等による積極的な情報発信を検討し、寄附の促進に努めます。 ○新たな広告媒体として導入が見込まれる案件について、引き続き所管課と調整を行い、下半期での導入につなげていきます。 ○調布市広告選定委員会の手続きの簡素化に向け、印刷物等への広告掲載に係る要綱改正に取り組みます。
後期	【取組計画】(PLAN) ○新たな広告媒体の導入など、様々な手法による財源確保策を検討するとともに、印刷物等への広告掲載に係る要綱改正に取り組みます。 ○令和3年度において、予定している広告料収入の確保に努めます。 ○新たな広告媒体として、広告付地図庁舎案内板等(デジタルサイネージ)を導入します。 ○令和4年度当初予算において、広告印刷物等の広告料収入として1000万円以上の確保に努めます。 ○基金に関する積極的な情報発信を行い、寄附の促進に努めます。 ○国・東京都の補助金を最大限活用するとともに、民間事業者による助成金の確保に努めます。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK) ○市報・市ホームページ・その他各種印刷物に広告を掲載し、広告料収入を確保することができました。 ○新たな広告媒体として広告付地図庁舎案内板等(デジタルサイネージ)を導入しました。 ○次年度予算編成を通じて、新たな広告媒体の洗い出しや積極的な確保を全庁的に促したことにより、独自財源の確保に関する職員意識向上につなげました。 ○印刷物等への広告掲載に係る要綱の一部改正により、調布市広告選定委員会の手続きを簡素化し、事務の効率化につなげました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる ○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)

3 年次評価及び総括	
年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	○広告料収入では、新たな広告媒体となる広告付地図庁舎案内板(デジタルサイネージ)の導入も含め、市ホームページのバナー広告等において、961万1850円を確保し、目標額を概ね達成しました。 ○引き続き、新たな媒体での導入について、予算編成等を通じて全庁的に促進してまいります。

方針	4	計画行政の推進	担当課	管財課, 道路管理課	連絡先	042-481-7019
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	31	普通財産の有効活用・処分				

### 1 プランの内容

調布市が保有する普通財産（土地・赤道<sup>\*</sup>・水路等）について、適切な日常管理を行う中で、有償による貸付けや行政財産としての活用を推進するほか、必要に応じて売払いを行うことで、歳入の確保に努めます。また、赤道・水路については、現況の把握・整理及びより適切な売払いに向けた事務に関する方針の検討に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆普通財産の適正な管理、有効活用、処分</li> <li>◆赤道・水路等・畦畔の適正な管理、売払い促進</li> <li>◆赤道・水路等・畦畔の売払い事務に関する方針に基づく例規等の整理</li> </ul>
-------	-------	---

<sup>\*</sup>赤道：公図上で地番が記載されていない土地（無地番地）の一つで、道路であった土地のこと

### 2 取組状況

前 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土地の貸付け、処分に向けた調整や測量等の準備を進めます。</li> <li>○普通財産の適正管理を行います。</li> <li>○インフラマネジメントの検討の一環として、適切な財産管理について検討します。</li> <li>○私道寄附受け基準、売払い基準の整理に向けた検討を進めます。</li> <li>○道路台帳電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定を実施し、廃止後の普通財産について今後の在り方を検討します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土地の貸付け、処分に向けた調整や測量等の準備を進めました。</li> <li>○インフラマネジメントの検討の一環として、適切な財産管理について検討しました。</li> <li>○私道寄附受け基準、売払い基準の整理に向けて検討を進めました。</li> <li>○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定の課題を整理し、廃止後の普通財産について今後の在り方を検討しました。</li> <li>○土地の有償貸付けを行う中で、クリーンセンター移転後の跡地活用事業において、事業用定期借地権設定契約（30年間）に基づき、新たに2918万4000円の財源を確保しました。18件 3289万1787円</li> <li>○土地の売却処分を行いました。2件 507万1400円</li> <li>○普通財産の草刈を行うなど、適正管理に取り組みました。</li> <li>○未利用道路・水路・畦畔の売払いを行いました。8件 6851万1100円</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	○引き続き、普通財産の適正管理に努めるとともに、令和2年度決算等審査において指摘のあった留意事項を踏まえ、今後の有効活用・処分に向け、保有する普通財産の現状と課題を改めて整理します。

後 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土地の貸付け、処分を行います。</li> <li>○普通財産の適正管理を行います。</li> <li>○インフラマネジメントの検討の一環として、適切な財産管理について検討します。</li> <li>○私道寄附受け基準書、売払い基準書を作成します。</li> <li>○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定の課題を整理し、廃止後の普通財産について今後の在り方を検討します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普通財産の草刈を行うなど、適正管理に取り組みました。</li> <li>○普通財産の処分（売払い）に向けた測量を行い、地積更正登記を行いました。1件 16.01㎡</li> <li>○普通財産の管理を適正に行うとともに、貸付及び処分（売払い）に向け、複数の用地について必要な調査等を進めました。さらに、貸付け（有効活用）については、公共施設マネジメントの取組の視点も含め、民間事業者とヒアリングを行いながら検討を進めました。</li> <li>○インフラマネジメントの検討の一環として、適切な財産管理の検討を実施しました。</li> <li>○私道寄附受け業務の手引き（案）、公有財産売払い手引き（案）を作成しました。</li> <li>○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定の課題を、廃止後の普通財産について今後の在り方を検討しました。</li> <li>○未利用道路・水路・畦畔の売払いを行いました。11件 5919万4900円</li> </ul>

### 3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括（評価の理由、取組による成果・効果）、次年度以降の取組の方向性】（CHECK・ACTION）
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普通財産について、18件3289万1787円の貸付を行いました。今後も継続して普通財産の有償貸付を行うことで有効活用を図るとともに、売払い可能な土地の取扱いについて関係課と連携し、具体的な検討を行います。</li> <li>○土地の貸付及び、水路・畦畔などの普通財産についての可能な売払いを実施するとともに、行政財産である赤道の廃道及び売払い・付替え交換を行うことで、適正な財産管理を行いました。3件52万2792円の貸付及び19件1億2770万6000円の売払いを実施しました。</li> <li>○公有財産売払い業務について、職員の経験差による判断の違いをなくし、適切な財産管理を行う為、公有財産売払い手引き（案）を作成しました。</li> <li>○開発行為を含む私道寄附受け業務についても、統一的な寄附受け判断基準を確立するとともに、業務の効率化を図るため、私道寄附受け業務の手引き（案）を作成しました。</li> <li>○市道の一括廃止・認定については、廃止後にトラブルが起きないようにするため、課題の洗い出しを実施しました。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進			
基本的取組	4-2	健全な財政運営	担当課	納税課	連絡先 042-481-7213
プラン	32	市税収納率の維持・向上			

**1 プランの内容**

市税の収納に関する効果的・効率的な手法を検討・活用しながら、収納率の維持・向上や収納事務の効率化等に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆期限内納付の推進</li> <li>◆多様な納付手段の活用</li> <li>◆収納体制の整備</li> <li>◆再設定後の市税目標収納率98.0%以上</li> </ul>
-------	-------	--

**2 取組状況**

前期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現年課税分の次年度繰越抑制への早期取組及び困難滞納事案の進行管理の徹底等により滞納繰越額の圧縮を図ります。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、個々の状況に応じ適正かつ丁寧な対応に努めます。</li> <li>○東京都主税局への派遣や実務研修、他団体との連携等を継続し、人材育成及び組織力の向上を図ります。</li> <li>○納税者の利便性向上及び安定した収納額確保の取組として、キャッシュレス収納等、新たな収納方法について検討を進めます。</li> <li>○市税及び国民健康保険税の収納事務一元化については、令和3年10月の実施に向け関係各課と協議を継続し、準備を進めます。</li> <li>○コロナ禍での経済状況等の影響を踏まえ、市税目標収納率は、計画当初に設定した98.0%以上を維持します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現年課税分の未納者に対し、電話催告の早期着手や税目等対象を絞った催告書の発送を行い、収納確保に努めました。滞納繰越分では高額・困難滞納事案について、管理職による担当者・担当係長ヒアリングを実施し、組織として滞納整理方針を共有し実行しました。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、徴収猶予制度のほか、税制以外の援助制度も案内するなど、丁寧な相談・対応に努めました。</li> <li>○東京都主税局への派遣研修の継続、経験年数に応じた各種実務研修の受講や、派遣経験者を中心とした課内OJTを行い、人材育成及び組織力の向上を図りました。</li> <li>○納税者の利便性向上及び安定した収納額確保への新たな取組として、キャッシュレス収納を令和4年度中に導入することを目途に準備を進めました。</li> <li>○市税及び国民健康保険税の収納事務一元化については、令和3年10月からの開始に向け、フロアレイアウト、人員体制等の具体的な内容を決定し、準備を進めました。</li> <li>○これらの取組の結果、9月末時点市税収納率は57.8%(前年同期比0.2ポイント増)となりました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現年課税分、滞納繰越分それぞれ、組織的な進行管理を継続して滞納事案の早期解決を図り、次年度繰越額の抑制と滞納繰越額の圧縮に努めます。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、丁寧な対応・相談に努めます。</li> <li>○納税者の利便性向上及び安定した収納額確保への取組として、キャッシュレス収納開始に向けた具体的な準備を進めます。</li> <li>○市税及び国民健康保険税の収納事務一元化を令和3年10月から開始し、市民の利便性向上、収納事務の効率化、マネジメント強化を図ります。</li> </ul>
後期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現年課税分の次年度繰越抑制への早期取組及び困難滞納事案の進行管理徹底等により滞納繰越額の圧縮を図ります。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、個々の状況に応じ適正かつ丁寧な対応に努めます。</li> <li>○東京都主税局への派遣や実務研修、他団体との連携等を継続し、人材育成及び組織力の向上を図ります。</li> <li>○納税者の利便性向上及び安定した収納額確保への取組として、キャッシュレス収納開始に向けた準備を進め、順次導入します。</li> <li>○令和3年10月からの市税及び国民健康保険税の収納事務一元化により、市民の利便性向上、収納事務の効率化、マネジメントの強化を図ります。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高額・困難滞納事案の管理職ヒアリングや、現年課税分の収納強化月間の設定(12月、3~5月)等、滞納繰越額の圧縮と現年度課税分の次年度繰越抑制に向けた取組を行った結果、令和3年度の市税収納率は、98.9%となりました。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、納税相談等を踏まえ、徴収猶予制度など、納税者の実情に応じた案内や担当部署の引継ぎなどを通じて、丁寧な相談・対応に努めました。</li> <li>○東京都主税局への派遣研修の継続や、派遣経験者を中心とした課内OJTの実施等を通じ人材育成を図りました。また、新型コロナウイルスの影響により、他団体とは、電話やメールなどを活用し、非対面・非接触での連携を継続しました。</li> <li>○新たな収納方法として令和4年1月からアプリ収納を加え、口座振替やペイジー収納、コンビニ収納、モバイルレジ収納などと併せて、納税者に多様な納付方法を用意しました。さらに、令和4年4月からクレジットカード収納を導入するための準備を行い、より一層の利便性向上に努めました。また、これらの取組について市報や市ホームページ、デジタルサイネージを活用してPRに努めたほか、引き続きペイジー口座振替サービスを活用して口座振替加入の利便性を確保するなど、納期内納付を促進させるとともに収納額の確保につなげました。</li> <li>○市税と国民健康保険税の収納事務一元化により、問合せ窓口を統一化し、利便性を向上させたほか、一体的な収納・滞納情報の管理による効率化を進めるなどマネジメントの強化を実施しました。</li> </ul>
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>○滞納整理においては、コロナ禍の影響を踏まえ、引き続き電話や郵送を活用し、非対面・非接触での滞納整理に取り組みました。</li> <li>○収納事務においては、引き続き口座振替を推進するとともに、アプリ収納の導入・クレジットカード収納の導入準備など、キャッシュレス収納の充実に取り組みました。</li> <li>○市税・国民健康保険税の収納事務を一元化し、事務の効率化を図ったほか、人材育成や組織力向上に取り組み、収納率の維持・向上に努めました。</li> <li>○これらの取組の結果、年度の目標値を0.9ポイント上回る合計収納率98.9%を達成しました。</li> </ul> <p>【令和3年度収納率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現年分：99.3%(前年度：99.2%(0.1ポイント増))</li> <li>滞納繰越分：61.3%(前年度：54.4%(6.9ポイント増))</li> <li>合計：98.9%(前年度：98.7%(0.2ポイント増))</li> </ul>



方針	4	計画行政の推進	担当課	保険年金課 (納税課)	連絡先	042-481-7055 (042-481-7213)
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	33	国民健康保険税収納率の維持・向上				

国民健康保険税の収納に関する効果的・効率的な手法を検討・活用しながら、収納率の維持・向上や収納事務の効率化等に取り組みます。		
年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆期限内納付の推進</li> <li>◆多様な納付手段の活用</li> <li>◆収納体制の整備</li> <li>◆再設定後の国保税目標収納率 82.0%以上</li> </ul>

前期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報による啓発や、国民健康保険の新規加入者への積極的な勧奨等により口座振替加入促進を図ります。</li> <li>○現年課税分の次年度繰越抑制への早期取組及び困難滞納事案の進行管理の徹底等により滞納繰越額の圧縮を図ります。</li> <li>○利便性向上及び安定した収納額確保への取組を継続するほか、引き続き新たな収納方法の導入に向けた検討を進めます。</li> <li>○市民の利便性の向上や収納事務の効率化・マネジメント強化の観点から、市税及び国民健康保険税の収納事務一元化を実施します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペイジー口座振替受付サービスの活用等により口座振替加入を勧奨するとともに、市報・市ホームページ及び調布FMによる啓発を行いました。</li> <li>○大口滞納事案に係る管理者ヒアリングにより、年度内の滞納整理方針を共有しました。</li> <li>○納付の利便性向上のため、アプリ収納など新たな収納方法の導入に向けた検討・調整を進めました。</li> <li>○市税及び国民健康保険税の収納事務一元化については、令和3年10月の開始に向け、運用方法・フロアレイアウト等、具体的な内容について調整・準備を進めました。</li> <li>○税収納部門一元化を控え、徴収体制を地区担当制にするとともに、一括事務処理が可能と見込まれる案件は別に担当を設け、徴収の効率化を図り滞納繰越分の圧縮を図りました。</li> <li>○収納率は、前年度実績を上回りました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ◎	
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現年課税分、滞納繰越分それぞれ、組織的な進行管理を継続して滞納事案の早期解決を図り、次年度繰越額の抑制と滞納繰越額の圧縮に努めます。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、丁寧な対応・相談に努めます。</li> <li>○納税者の利便性向上及び安定した収納額確保への取組として、キャッシュレス収納開始に向けた準備を進めます。</li> <li>○収納事務一元化を令和3年10月から開始し、市民の利便性向上、収納事務の効率化、マネジメント強化を図ります。</li> </ul>
	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現年課税分の次年度繰越抑制への早期取組及び困難滞納事案の進行管理の徹底等により滞納繰越額の圧縮を図ります。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、個々の状況に応じ適正かつ丁寧な対応に努めます。</li> <li>○東京都主税局への派遣や実務研修、他団体との連携等を継続し、人材育成及び組織力の向上を図ります。</li> <li>○納税者の利便性向上及び安定した収納額確保への取組として、キャッシュレス収納開始に向けた準備を進め、順次導入します。</li> <li>○令和3年10月からの市税及び国民健康保険税の収納事務一元化により、市民の利便性向上、収納事務の効率化、マネジメントの強化を図ります。</li> </ul>
後期	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高額・困難滞納事案の管理職ヒアリングや、現年課税分の収納強化月間の設定(12月、3~5月)等、滞納繰越額と現年度課税分の次年度繰越抑制に向けた取組を行った結果、令和3年度の国民健康保険税収納率は、85.9%になりました。</li> <li>○新型コロナウイルスの影響による納税困難者に対しては、納付相談等を踏まえ、国民健康保険税の減免制度など、納税者の実情に応じた案内や担当部署への引継ぎなどを通じて、丁寧な相談・対応に努めました。</li> <li>○新たな収納方法としてアプリ収納を加え、口座振替やペイジー収納、コンビニ収納、モバイルレジ収納などと併せて、納税者に多様な納付方法を用意しました。さらに、令和4年4月からクレジットカード収納を導入するための準備を行い、より一層の利便性向上に努めました。また、これらの取組について市報や市ホームページ、デジタルサイネージを活用してPRに努めたほか、引き続きペイジー口座振替受付サービスを活用した口座振替加入推進により納税者の利便性を確保するなど、納期内納付を促進させるとともに収納額の確保につなげました。</li> <li>○市税と国民健康保険税の収納事務一元化により、問合せ窓口の統一化を行い利便性を向上させたほか、一体的な収納・滞納情報の管理による効率化を進めるなどマネジメントの強化を実施しました。また、国民健康保険税徴収事務担当者を中心とした課内OJTの実施等を通じて、市税・国民健康保険税の徴収手法を共有することなどにより、人材育成を図りました。</li> <li>○その他、新型コロナウイルスの影響により、他団体とは、電話やメールなどを活用し、非対面・非接触での連携を継続しました。</li> </ul>
	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍の影響を踏まえ、引き続き非対面・非接触での滞納整理を進めるとともに、納税者の実情に応じ、国民健康保険税の減免特例など各制度を踏まえた納税相談等に取り組むことで、滞納額の圧縮に努めました。</li> <li>○収納事務においては、引き続き口座振替を推進するとともに、アプリ収納の導入やクレジットカード収納の導入準備など、キャッシュレス収納の充実に取り組みました。</li> <li>○市税・国民健康保険税の収納事務を一元化し、事務の効率化を図ったほか、人材育成や組織力向上に取り組み、収納率の維持・向上に努めました。</li> <li>○これらの取組の結果、年度の目標値を3.9ポイント上回る合計収納率85.9%を達成しました。</li> </ul> <p>【令和3年度収納率】                      現年分：93.7% (前年度：94.3% (0.6ポイント減))                      滞納繰越分：31.0% (前年度：22.9% (8.1ポイント増))                      合計：85.9% (前年度：83.3% (2.6ポイント増))</p>

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍の影響を踏まえ、引き続き非対面・非接触での滞納整理を進めるとともに、納税者の実情に応じ、国民健康保険税の減免特例など各制度を踏まえた納税相談等に取り組むことで、滞納額の圧縮に努めました。</li> <li>○収納事務においては、引き続き口座振替を推進するとともに、アプリ収納の導入やクレジットカード収納の導入準備など、キャッシュレス収納の充実に取り組みました。</li> <li>○市税・国民健康保険税の収納事務を一元化し、事務の効率化を図ったほか、人材育成や組織力向上に取り組み、収納率の維持・向上に努めました。</li> <li>○これらの取組の結果、年度の目標値を3.9ポイント上回る合計収納率85.9%を達成しました。</li> </ul> <p>【令和3年度収納率】                      現年分：93.7% (前年度：94.3% (0.6ポイント減))                      滞納繰越分：31.0% (前年度：22.9% (8.1ポイント増))                      合計：85.9% (前年度：83.3% (2.6ポイント増))</p>

方針	4	計画行政の推進	担当課	保険年金課	連絡先	042-481-7052
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	34	給付・医療費の適正化				

1 プランの内容

東京都国民健康保険運営方針を踏まえ、レセプト点検の推進やジェネリック医薬品の使用促進を通じて、給付・医療費の適正化につなげます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆レセプト点検の推進</li> <li>◆柔道整復等療養費支給申請の二次点検の推進</li> <li>◆ジェネリック医薬品の使用促進</li> </ul>
-------	-------	--

2 取組状況

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医科等レセプトの点検を実施します。</li> <li>○柔道整復等療養費(海外療養費, 海外出産を含む)支給申請の二次点検を実施します。また, 受診の多い被保険者に対し, 柔道整復師療養費通知を送付します。</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用促進に向けた取組を実施します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医科等レセプトの点検(職員による資格点検, AIを活用した診療報酬明細書の内容点検, RPAを活用したこれら点検結果の登録)を実施し, 給付・医療費の適正化を図りました。</li> <li>○柔道整復等療養費(海外療養費, 海外出産を含む)支給申請の二次点検を実施し, 給付・医療費の適正化を図りました。また, 受診の多い被保険者に対し, 柔道整復師療養費通知を送付し, 適正な受療の方法を啓発するとともに, 被保険者本人による内容の確認が行えるようにしました。</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用促進に向けて, 毎月, 利用促進通知を送付するとともに, 国民健康保険の加入手続き時にジェネリック医薬品希望シールを配布し, 啓発を図りました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医科等レセプトの点検及び柔道整復等療養費(海外療養費, 海外出産を含む)支給申請の二次点検を実施し, 給付・医療費の適正化を図ります。</li> <li>○AI・RPAを活用した診療報酬明細書の内容点検に取り組みます。</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用に関する通知・シールにより, ジェネリック医薬品の普及・定着を図ります。</li> </ul>
	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医科等レセプトの点検を実施します。</li> <li>○柔道整復等療養費(海外療養費, 海外出産を含む)支給申請の二次点検を実施します。</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用促進に向けた取組を実施します。</li> </ul>
後 期	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医科等レセプトの点検(職員による資格点検, AIを活用した診療報酬明細書の内容点検, RPAを活用したこれら点検結果の登録)を実施し, 給付・医療費の適正化を図りました。</li> <li>○柔道整復等療養費(海外療養費, 海外出産を含む)支給申請の二次点検を実施し, 給付・医療費の適正化を図りました。</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用促進に向けて, 毎月, 利用促進通知を送付するとともに, 国民健康保険の加入手続き時にジェネリック医薬品希望シールを配布し, 啓発を図りました。</li> </ul>

3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AI・RPAを利用した医科等レセプトの点検により, 点検による効果を高めるとともに, 経費縮減に努め, 給付・医療費の適正化を図りました。</li> <li>○柔道整復等療養費(海外療養費含む)支給申請の二次点検を実施し, 給付・医療費の適正化を図りました。また, 前年度から実施している柔道整復師療養費通知の効果検証では, 受療の適正化が一定程度図られていると考えられるため, 引き続き, 効果等を確認していきます。</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用促進に努め, 調剤医療費を抑制しました。</li> </ul> <p>【令和3年度財政効果額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医科等レセプトの点検による過誤調整額 1億651万2000円</li> <li>○ジェネリック医薬品の利用促進による医療費抑制効果額 2億1671万3199円</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課	財政課, 法制課, 関係各課	連絡先	042-481-7376
基本的取組	4-2	健全な財政運営				
プラン	35	債権管理の推進				

1 プランの内容		
<p>統一ルールに基づき、調布市が保有する債権を管理することで、収納対策や収入未済額の縮減を推進します。また、取組の実践を踏まえたルールの見直しを行うほか、過去における対応事例の活用を図ります。</p>		
年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆改訂後の統一ルールに基づく債権管理の推進</li> <li>◆債権管理の対応事例等の整理・活用</li> <li>◆収入未済額縮減の推進</li> </ul>

2 取組状況	
前期	<p>【取組計画】(PLAN)</p> <p>○統一ルールに基づいた債権の管理・収納を推進します。                  ○法制課と連携した所管課支援の体制を継続します。                  ○所管課の債権管理の状況や、令和2年度決算における収入未済額及び不納欠損額を把握します。</p>
	<p>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</p> <p>○令和2年度決算における収入未済額等の把握を通じて、市の統一ルールに基づいた債権管理を推進しました。                  ○所管課ヒアリング等を通じ、今後の不納欠損見込みや、長期滞納の可能性のある債権の把握等を行いました。</p>
	<p>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○</p>
	<p>【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)</p> <p>○収入未済額の縮減に向けて、法制課及び所管課と連携を図りながら、引き続き、統一ルールに基づいた債権の適切な管理・収納を図ります。</p>
	<p>【取組計画】(PLAN)</p> <p>○統一ルールに基づいた債権の管理・収納を推進します。                  ○法制課と連携を図りながら、収入未済額の縮減に向けた所管課への支援を継続します。</p>
後期	<p>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</p> <p>○日常的な相談や不納欠損処分の進捗管理等をとおして、統一ルールに基づいた債権管理を推進しました。                  ○過去から累積している収納見込みの無い長期未納債権を不納欠損処分したことで、収納業務の効率化を進めました。</p>

3 年次評価及び総括	
年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<p>○所管課からの相談等において法的な観点が必要な場合などに、法制課と連携して法曹有資格者が助言・支援を行うことにより、適切な債権管理を推進しました。                  ○市の統一ルール等に基づき、過去から累積している収納見込みの無い債権の処理を行ったことで、収納業務の効率化を進めました。</p>

方針	4	計画行政の推進	担当課	企画経営課、営繕課、関係各課	連絡先	042-481-7510
基本的取組	4-3	公共施設等マネジメントの推進				
プラン	36	公共施設マネジメントの推進				

**1 プランの内容**

持続可能な市政経営の実現に向けて、調布市公共施設等総合管理計画における公共施設マネジメントの基本方針及び調布市公共建築物維持保全計画に基づき、公共施設の適切かつ計画的な維持保全に取り組むとともに、(仮称)公共施設マネジメント計画において個別施設の在り方・方向性を整理します。また、今後の公共施設マネジメントにおける体制の検討に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づく取組の検討、推進</li> <li>◆公共施設マネジメントに関する庁内横断的な検討</li> <li>◆公共施設マネジメント推進体制の考え方に基づく取組</li> <li>◆「(仮称)公共施設マネジメント計画」に基づく取組の検討、推進</li> </ul>
-------	-------	---

**2 取組状況**

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、公共施設等マネジメント推進検討会議などを活用し庁内横断的な検討を進めます。</li> <li>○公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づき(仮称)公共施設マネジメント計画を策定するとともに、公共建築物維持保全計画について、時点修正等を行ったうえで(仮称)公共施設マネジメント計画に統合します。また、同計画に基づき取組を推進します。</li> <li>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を実施します。</li> <li>○公共施設マネジメント推進体制について検討します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、公共施設等マネジメント推進検討会議を開催し庁内横断的な検討を進めました。</li> <li>○公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づき(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向け取り組みました。</li> <li>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を実施しました。</li> <li>○公共施設マネジメント推進体制について各団体の情報を収集しました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	△
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、公共施設等マネジメント推進検討会議などを活用し庁内横断的な検討を進めます。</li> <li>○公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づき(仮称)公共施設マネジメント計画を策定するとともに、公共建築物維持保全計画について、時点修正等を行ったうえで(仮称)公共施設マネジメント計画に統合します。</li> <li>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を実施します。</li> <li>○公共施設マネジメント推進体制について各団体の情報を収集・整理し推進体制を検討します。</li> </ul>
後 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、公共施設等マネジメント推進検討会議などを活用し庁内横断的な検討を進めます。</li> <li>○公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づき(仮称)公共施設マネジメント計画を策定するとともに、公共建築物維持保全計画について、時点修正等を行ったうえで(仮称)公共施設マネジメント計画に統合します。また、同計画に基づき取組を推進します。</li> <li>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を実施します。</li> <li>○公共施設マネジメント推進体制について検討します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、公共施設等マネジメント推進検討会議を開催し庁内横断的な検討を進めました。</li> <li>○公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づき(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向け取り組みました。</li> <li>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を実施しました。</li> <li>○公共施設マネジメント推進体制について検討しました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	△
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、公共施設等マネジメント推進検討会議などを活用し庁内横断的な検討を進めます。</li> <li>○公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づき(仮称)公共施設マネジメント計画を策定するとともに、公共建築物維持保全計画について、時点修正等を行ったうえで(仮称)公共施設マネジメント計画に統合します。</li> <li>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を実施します。</li> <li>○公共施設マネジメント推進体制について各団体の情報を収集・整理し推進体制を検討します。</li> </ul>

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内横断的な連携を図りながら公共施設マネジメントの取組を推進しましたが、令和3年度中の策定を予定していた(仮称)公共施設マネジメント計画の策定について、学校施設における35人学級への対応や大型公共施設整備の調整などを計画に反映するため、策定期間について時点修正を行いました。そのため、令和4年度は、引き続き、庁内横断的な連携を図りながら(仮称)公共施設マネジメント計画を策定する必要があります。</li> <li>○改修工事等の維持保全については、公共建築物維持保全計画に基づき、適切に実施しました。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課	緑と公園課, 下水道課, 道路管理課, 企画経営課	連絡先	042-481-7228
基本的取組	4-3	公共施設等マネジメントの推進				
プラン	37	インフラマネジメントの推進				

## 1 プランの内容

持続可能な市政経営の実現に向けて、調布市公共施設等総合管理計画におけるインフラマネジメントの基本方針及び既存の長寿命化計画等に基づき、公園施設、下水道施設、道路・橋りょう等の効率的な管理、維持保全、更新等に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づく取組の検討、推進</li> <li>◆インフラマネジメントに関する庁内横断的な検討</li> <li>◆公園施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等縮減の推進</li> <li>◆下水道施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等縮減の推進</li> <li>◆道路施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等の縮減の推進</li> </ul>
-------	-------	---

## 2 取組状況

前期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園施設長寿命化計画に基づく施設(遊具)の更新を推進します。</li> <li>○下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管路およびマンホール蓋の改築設計を実施します。</li> <li>○ライフサイクルコスト削減、災害時のリスク低減、環境負荷低減に寄与する、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化事業を推進します。</li> <li>○耐震対策指針の改定及び地域防災計画改定に伴う次期地震対策計画策定に向けた詳細調査業務を行います。</li> <li>○道路の効率的・効果的な維持管理を推進するため、道路白書の策定などに取り組みほか、道路管理業務の包括的民間委託導入に向けて、市内外事業者とリスクワークショップなどを実施し、検討を進めます。</li> <li>○道路台帳電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定による占用料の減免等の検討を進めます。</li> <li>○調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取しながら、(仮称)調布市道路総合管理計画策定における検討状況を共有するとともに、道路の総合的な管理の在り方を検討します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園施設長寿命化計画に基づいた公園遊具の更新に向け、利用者要望の調査準備を行いました。</li> <li>○下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管路およびマンホール蓋の改築設計を実施中です。</li> <li>○ライフサイクルコスト削減、災害時のリスク低減、環境負荷低減に寄与する、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化に向けたシールド工事の発注準備中です。</li> <li>○耐震対策指針の改定及び地域防災計画改定に伴う次期地震対策計画策定に向けた詳細調査業務委託の発注準備中です。</li> <li>○調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取しながら、道路白書の内容構成と(仮称)調布市道路総合管理計画の位置づけと基本方針の方向及び内容構成の検討を進めました。</li> <li>○舗装分野における市内事業者と道路管理業務の包括的民間委託導入に関する意見交換会を実施し、検討を進めました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○	
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象施設の調査を継続し、今後見込まれる更新費等について整理を継続します。</li> <li>○下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道管路及びマンホール蓋の改築設計の完了と、国の交付金を活用し事業を実施すべく、社会資本総合整備計画を提出します。</li> <li>○仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化に向けたシールド工事を発注し、工事説明会を実施します。</li> <li>○耐震対策指針の改定及び地域防災計画に基づき、京王線軌道下の下水道管路について詳細な耐震診断を実施し、耐震性能を確認します。</li> <li>○引き続き、調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取しながら、道路白書の取りまとめとともに、(仮称)調布市道路総合管理計画の基本方針と内容構成の検討を進めていきます。</li> <li>○引き続き、道路管理業務の包括的民間委託導入に関する意見交換会を地元事業者を中心に実施していきます。</li> </ul>
後期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園施設長寿命化計画に基づく施設(遊具)の更新を推進するとともに、複合遊具等については利用者等の市民意見を伺い、設計に反映します。</li> <li>○下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管路及びマンホール蓋の改築設計を実施します。</li> <li>○ライフサイクルコスト削減、災害時のリスク低減、環境負荷低減に寄与する、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化事業を推進します。</li> <li>○耐震対策指針の改定及び地域防災計画改定に伴う次期地震対策計画策定に向けた詳細調査業務を行います。</li> <li>○道路の効率的・効果的な維持管理を推進するため、道路白書公表に向けて案のとりまとめなどに取り組みほか、道路管理業務の包括的民間委託導入に向けて、市内外事業者とリスクワークショップなどを実施し、民間事業者の意見を踏まえた実施方針(案)、要求水準書(案)を作成します。</li> <li>○道路台帳電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定による占用料の減免等の例規の改正を行います。</li> <li>○調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取しながら、(仮称)調布市道路総合管理計画策定における検討状況を共有するとともに、道路の総合的な管理の在り方を検討します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園施設長寿命化計画に基づいた公園遊具の改築・更新に向け、利用者要望の調査を実施しました。</li> <li>○障害のある方の保護者や関連団体に意見照会を実施しました。</li> <li>○下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管路及びマンホール蓋の改築設計(第1期-1)が完了しました。</li> <li>○ライフサイクルコスト削減、災害時のリスク低減、環境負荷低減に寄与する、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化に向けたシールド工事の契約を締結し、工事説明会を開催のうえ、工事に着手しました。</li> <li>○耐震対策指針の改定及び地域防災計画改定に基づき、京王線軌道下の下水道管路について耐震診断を実施し、耐震性能を有することを確認しました。</li> <li>○道路の効率的・効果的な維持管理を推進するため、道路白書においては、施設、財産などの管理物について、数量や配置、管理物の状態、管理方法、管理費用などの整理のほか、管理業務について、業務内容、業務量などを整理し、維持管理の現状を総合的に整理しました。</li> <li>○調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取しながら、現時点までの取組状況を共有し、(仮称)調布市道路総合管理計画の基本方針を定めました。</li> <li>○占用料の減免等の例規の改正については、公共物占用料と道路占用料の減免措置の対象・基準を統一する改正を行いました。</li> <li>○電気、造園及び清掃分野の市内事業者と道路管理業務の包括的民間委託導入意見交換会を実施し、検討を進めました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○	
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	

## 3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園施設長寿命化計画に基づいた公園遊具の改築・更新に向け、利用者要望の調査を実施しました。また、障害のある方の保護者や関連団体に意見照会を実施しました。</li> <li>○年間をとおして計画通り取組を進め、既存下水道管路の長寿命化等に寄与しました。今後は、計画的かつ効率的に、更なる下水道管路の予防保全を進めていくため、管理業務における包括的民間委託の導入可能性について検討するとともに、ストックマネジメント計画に基づく事業(老朽化・劣化対策工事)、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化事業、下水道管路の耐震診断の取組を継続していきます。</li> <li>○道路の総合的な管理の在り方の検討について、(仮称)調布市道路総合管理計画策定に先立ち、道路に関わる施設管理、財産管理の現状を整理した道路白書の作成を進めました。また、調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取を実施しながら、検討を進めました。</li> <li>○道路管理業務の包括的民間委託導入に向けて、市内事業者と意見交換会を実施し、包括的民間委託に関する理解形成の促進等を図りました。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課	管財課, 企画経営課	連絡先	042-481-7174
基本的取組	4-3	公共施設等マネジメントの推進				
プラン	38	市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討				

**1 プランの内容**

市庁舎の耐震性の確保に向けた免震改修事業を着実に推進します。また、調布市公共施設等総合管理計画における基本方針に基づき、現状や課題を踏まえ、免震改修後の市庁舎の長寿命化及び狭あい化対策に関する取組の方向性を整理するほか、将来的な更新に向けては、現時点での最有力地である現在の市庁舎敷地における整備手法、財源確保方策等の検討に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討, 実施</li> <li>◆市庁舎更新に関する財源確保方策の検討</li> </ul>
-------	-------	--

**2 取組状況**

前期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本計画に位置付けた公共建築物維持保全等の取組に基づく維持保全を行います。</li> <li>○基金設置に必要な基礎資料として、新市庁舎の想定規模と概算建設費の時点修正を行うとともに、基金の目標額、積立期間及び積立方法について検討を進めます。</li> <li>○現市庁舎の維持保全に係るシミュレーションシートを作成し、(仮称)公共施設マネジメント計画に反映します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場は令和3年3月31日をもって閉鎖し、解体工事に着手しました。跡地は、当面平面駐車場として使用し、並行して跡地利用の検討を進めます。</li> <li>○令和4年度の市庁舎更新に関する基金条例の制定に向け、新市庁舎の想定規模(延べ面積)と概算建設費の算出などについて検討を進めます。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎:計画を上回る ○:(概ね)計画どおり △:遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場等跡地の利用について、引き続き検討を行います。</li> <li>○現市庁舎の維持保全に係るシミュレーションシートを作成し、(仮称)公共施設マネジメント計画に反映します。</li> </ul>
後期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場等跡地の利用について、市庁舎の狭あい化の解消に向けた検討を行います。</li> <li>○令和4年度の市庁舎更新に関する財源確保方策として新たな基金の設置に向け、新市庁舎の想定規模と概算建設費の時点修正を行うとともに、基金の目標額、積立期間及び積立方法について検討を進めます。</li> <li>○現市庁舎の維持保全に係るシミュレーションシートを作成し、(仮称)公共施設マネジメント計画に反映します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場解体工事が令和4年2月8日に完了し、跡地について平面駐車場としての暫定運用を開始しました。並行して跡地利用の更なる有効活用について、庁内横断的な連携の下、検討を進めました。</li> <li>○将来の市庁舎更新に関する財源確保方策として、令和4年度中の新たな基金の設置に向け、新市庁舎の将来規模(延べ面積)を想定したうえで、概算建設費を算出しました。</li> </ul>

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場解体工事が令和4年2月8日に完了し、跡地について平面駐車場としての暫定運用を開始しました。並行して跡地利用の検討を進めました。</li> <li>○将来の市庁舎更新に関する財源確保方策としての新たな基金の設置に向け、一部時点修正を加えながら検討を進めました。</li> <li>○市庁舎狭あい化対策について、立体駐車場跡地の有効活用も含め、検討を進めます。</li> <li>○新庁舎の将来規模を想定し、概算建設費を算出します。また、基金の目標額、積立期間及び積立方法を整理します。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課 文化生涯学習課, 福祉総務課, 企画 経営課	連絡先 042-481-7139
基本的取組	4-3	公共施設等マネジメントの推進		
プラン	39	グリーンホール及び総合福祉センターの在り方検討, 整備の推進		

**1 プランの内容**

グリーンホール及び総合福祉センターについて、調布市公共施設等総合管理計画における基本方針に基づき、都市基盤整備の進捗や公共施設の在り方検討を踏まえ、民間活力の活用を視野に多角的な検討に取り組み、今後の方向性や施設整備に関する考え方を整理します。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆グリーンホールの整備方針に基づく取組の検討</li> <li>◆総合福祉センターの整備方針に基づく取組</li> </ul>
-------	-------	--

**2 取組状況**

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホールの整備に向けた検討状況を施設利用団体と情報共有するとともに、ホール機能や規模等に関する、今後の検討会や意見交換会の実施検討を進めます。</li> <li>○総合福祉センターに必要な施設機能等を検討するために、庁内横断的連携の下、必要な調査・情報収集等を行います。</li> <li>○令和3年度上半期に策定を予定している「総合福祉センターの整備に関する考え方」の取りまとめに向けて、「総合福祉センターの整備に関する検討会」を着実に実施するとともに、パブリック・コメントや総合福祉センターの関係団体との意見交換の実施等により広く意見を聴取します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホールの整備に向けた検討状況について利用団体と意見交換を行いました。</li> <li>○グリーンホール等複合施設整備の事業化に向けた検討業務について委託を実施しました。</li> <li>○「総合福祉センターの整備に関する考え方」の取りまとめに向けて、「総合福祉センターの整備に関する検討会」を開催しました。</li> <li>○検討会の結果等を踏まえ、令和3年6月からパブリック・コメント手続による意見聴取を行うとともに、総合福祉センターの利用者・関係団体や地域住民をはじめとする市民の方を対象に意見交換会を開催し、広く御意見を伺いました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	△
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホールに関する検討会の設置に向けて、ホール機能や規模等の検討を進めます。</li> <li>○「総合福祉センターの整備に関する考え方」については、令和3年度上半期に取りまとめを予定していたものの、新型コロナウイルスの影響等により、利用者や関係団体等との意見交換の実施が難しい状況にあったため、取りまとめ時期を見直す必要があります。</li> <li>○引き続き、総合福祉センターの利用者・関係団体等との意見交換を重ねながら、「総合福祉センターの整備に関する考え方」の取りまとめに向けた取組を行います。</li> </ul>
後 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホール利用団体や関係団体等との意見交換を重ねるとともに、グリーンホールに関する検討会の設置に向けた調整を行います。</li> <li>○グリーンホール等複合施設整備事業のサウンディング調査と連携し、事業者が考えるホール機能や複合施設における配置等について見解を把握し、ホール機能や規模等の検討との整合を図るよう取組を進めます。</li> <li>○総合福祉センターに必要な施設機能等を検討するために、庁内横断的な連携の下、必要な調査・情報収集等を行います。</li> <li>○総合福祉センターの利用者・関係団体等との意見交換を重ねながら、「総合福祉センターの整備に関する考え方」を取りまとめるとともに移転・更新に向けた取組を進めます。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホールの今後の更新に向けた取組に関して、施設利用団体と情報共有を図りながら、意見交換を行いました。</li> <li>○民間企業の導入意向調査(サウンディング)を実施し、財政負担の抑制・平準化に向けた最適な事業スキームや、ホール規模等について、実現可能な事業条件等の把握につなげました。また、ホール整備の先進事例として、他自治体ホールの視察を実施しました。</li> <li>○総合福祉センターの利用者・関係団体等との意見交換を重ねながら、令和4年2月に「総合福祉センターの整備に関する考え方」を取りまとめました。</li> <li>○移転後の新たな総合福祉センターの機能や設備、調布駅周辺の福祉機能等について、具体的な意見聴取や検討を行うため、「総合福祉センターの整備に関する考え方」に基づき、「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」を立ち上げ、令和4年3月に第1回検討会を開催しました。</li> <li>○新たな総合福祉センターの施設機能等の検討にあたっては、庁内横断的な連携の下、必要な調査・協議、情報収集等を行いました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	◎
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホールに関する検討会の設置に向けて、ホール機能や規模等の検討を進めます。</li> <li>○「総合福祉センターの整備に関する考え方」については、令和3年度上半期に取りまとめを予定していたものの、新型コロナウイルスの影響等により、利用者や関係団体等との意見交換の実施が難しい状況にあったため、取りまとめ時期を見直す必要があります。</li> <li>○引き続き、総合福祉センターの利用者・関係団体等との意見交換を重ねながら、「総合福祉センターの整備に関する考え方」の取りまとめに向けた取組を行います。</li> </ul>

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンホールの整備に向けた検討にあたっては、ホール整備の先進事例として視察を実施したほか、関連団体と情報共有を図りながら、整備手法、コストに関するシミュレーション等を踏まえて検討を進めました。</li> <li>○グリーンホールの整備に関しては、引き続き、利用団体や関係団体等との意見交換を重ねるとともに、民間企業の導入意向調査(サウンディング)を実施し、事業者が考えるホール機能や複合施設における配置等も参考にしながら取組を進めます。</li> <li>○「総合福祉センターの整備に関する考え方」の取りまとめに向けて、パブリック・コメント手続による意見聴取や総合福祉センターの利用者・関係団体等との意見交換会を継続的に開催することにより、丁寧に御意見を伺いながら、令和4年2月に「整備に関する考え方」を取りまとめました。また、移転後の新たな総合福祉センターの機能や設備、調布駅周辺の福祉機能等について具体的な意見聴取や検討を行うため、この「整備に関する考え方」に基づき、令和4年3月に「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」を設置・開催し、総合福祉センターの移転・更新に向けた取組を進めました。</li> </ul>

方針	4	計画行政の推進	担当課	教育総務課、企画経営課	連絡先	042-481-7466
基本的取組	4-3	公共施設等マネジメントの推進				
プラン	40	学校施設における長寿命化等の推進				

**1 プランの内容**

調布市公共施設等総合管理計画における基本方針及び平成30(2018)年度策定の調布市学校施設整備方針に基づき、令和2(2020)年度に策定予定の(仮称)公共施設マネジメント計画に位置付けた中で、学校施設における長寿命化等に関する取組を推進するとともに、より効率的な改修手法等の検討・実施に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校施設整備方針に基づく長寿命化等の実施</li> <li>◆(仮称)公共施設マネジメント計画に基づく学校施設における効率的な改修等の検討、実施</li> </ul>
-------	-------	---

**2 取組状況**

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施します。</li> <li>○概ね80年程度の目標使用年数を見据えた残存期間を考慮した長寿命化改修を実施します。</li> <li>○食物アレルギー対策を推進するため、給食室改修に併せたアレルギー対応専用調理室を整備します。</li> <li>○体育館の空調整備については、小学校6校(第二小、八雲台小、富士見台小、飛田給小、柏野小、国領小)で工事を実施します。</li> <li>○普通教室対策として、若葉小学校及び第四中学校の一体型施設整備の実施に向けた検討を進めます。また、35人学級編制への対応として、小学校6校(第一小、八雲台小、富士見台小、滝坂小、石原小、緑ヶ丘小)で学校施設の在り方について検討を行います。</li> <li>○(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向けて、中・長期的な学校施設整備の検討を進めます。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アレルギー対応専用調理室の整備を併せて行う柏野小学校の給食室改修に着手しました。</li> <li>○体育館の空調整備について、小学校6校(第二小、八雲台小、富士見台小、飛田給小、柏野小、国領小)で工事着手し、その内3校(第二小、八雲台小、柏野小)で整備が完了しました。</li> <li>○若葉小学校及び第四中学校の一体型施設整備の実施に向け、学識経験者や学校関係者で構成する「調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会」を設置し、基本構想の策定に着手しました。</li> <li>○小学校6校(第一小、八雲台小、富士見台小、滝坂小、石原小、緑ヶ丘小)における、学校施設の在り方検討に着手しました。</li> <li>○(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向けた、中・長期的な学校施設整備について、関係各課との情報共有を図りました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設の在り方検討結果及び各学校の学区内における未就学児人口の変化を踏まえ、令和4年度に向けた不足教室対策を検討していきます。</li> <li>○若葉小学校・第四中学校の一体型施設整備の実施に向け、基本設計及びPPP/PFI導入の準備を進めます。</li> </ul>
後 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施します。</li> <li>○概ね80年程度の目標使用年数を見据えた残存期間を考慮した長寿命化改修を実施します。</li> <li>○食物アレルギー対策を推進するため、給食室改修に併せたアレルギー対応専用調理室を整備します。</li> <li>○普通教室の不足が見込まれ、校舎の老朽化が進む若葉小学校及び第四中学校の一体型施設整備の実施に向けた検討を進めます。</li> <li>○(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向けて、中・長期的な学校施設整備の検討を進めます。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アレルギー対応専用調理室の整備を併せて行う柏野小学校の給食室改修を実施しました。</li> <li>○体育館の空調整備について、小学校3校(富士見台小、飛田給小、国領小)で整備が完了したことにより、市内小・中学校全校で空調整備が完了しました。</li> <li>○若葉小学校及び第四中学校の一体型施設整備の実施に向け、基本構想を策定し、基本計画及びPFI導入可能性調査などを実施するためのプロポーザルに着手しました。</li> <li>○小学校6校(第一小、八雲台小、富士見台小、滝坂小、石原小、緑ヶ丘小)における、学校施設の在り方検討を実施しました。</li> <li>○(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向けた、中・長期的な学校施設整備について、関係各課との情報共有を図りました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設の在り方検討結果及び各学校の学区内における未就学児人口の変化を踏まえ、令和4年度に向けた不足教室対策を検討していきます。</li> <li>○若葉小学校・第四中学校の一体型施設整備の実施に向け、基本設計及びPPP/PFI導入の準備を進めます。</li> </ul>

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館改修や校舎外壁改修などの学校施設の長寿命化、普通教室整備や校舎増築工事の設計などの不足教室対策など、調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施しました。また、策定した若葉小学校及び第四中学校の一体型施設整備の基本構想を基に、次のステップである基本計画の策定やPFI導入について検討を進めます。</li> </ul>



方針	4	計画行政の推進	担当課 企画経営課, 高齢者支援室, 協働推進課	連絡先 042-481-7369
基本的取組	4-3	公共施設等マネジメントの推進		
プラン	41	官民連携手法によるクリーンセンター跡地活用の推進		

**1 プランの内容**

クリーンセンター移転後の跡地について、調布市公共施設等総合管理計画における基本方針に基づくモデル事業として、官民連携手法を活用し、敷地を効果的に活用するとともに、地域ニーズへの対応や行政課題の解決に資する施設の効率的な整備に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆クリーンセンター移転後の跡地活用に関する官民連携事業の推進（クリーンセンター跡地における施設整備、運営）</li> <li>◆深大寺老人憩の家の機能移転の準備</li> </ul>
-------	-------	--

**2 取組状況**

前 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クリーンセンター移転後の跡地における施設への深大寺老人憩の家の機能移転に向けた取組を推進します。</li> <li>○新たに設置する公共施設の条例制定に向け検討します。</li> <li>○施設の活用に向け、地域も含めた協議会の設置に向け検討します。</li> <li>○深大寺老人憩の家の機能移転後の運営方法を検討するため、先行事例等の情報収集を行うとともに、利用者の意見等を収集します。</li> <li>○必要に応じて深大寺老人憩の家の利用者等への説明等を実施します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、深大寺老人憩の家を一時休館しました。再開後も、施設利用者の感染症対策を優先したため、移転後の利用者ニーズについて、意見等の収集は実施できませんでした。</li> <li>○新たに設置する公共施設の条例制定に向け、施設の管理形態等を検討しました。</li> <li>○施設の活用に向けた、地域も含めた協議会の設置に向け、協議会のイメージや会則等を検討しました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる	○
後 期	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○深大寺老人憩の家の移転後の機能について、引き続き関係部署と運営方法や利用方法等を検討していきます。</li> <li>○新たに設置する公共施設の条例を制定します。</li> <li>○施設の活用に向けた、地域も含めた協議会の設置に向け、協議会の設立準備に取り組みます。</li> </ul>
	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クリーンセンター移転後の跡地における施設への深大寺老人憩の家の機能移転に向けた取組を推進します。</li> <li>○新たに設置する公共施設の条例を制定します。</li> <li>○施設の活用に向け、地域も含めた協議会の設置に向け検討します。</li> <li>○深大寺老人憩の家の機能移転後の運営方法を検討するため、先行事例等の情報収集を行います。</li> <li>○必要に応じて深大寺老人憩の家の利用者等への説明等を実施します。</li> <li>○機能移転後の運営方法を検討するため、深大寺老人憩の家の利用者の意見等を収集します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、深大寺老人憩の家を一時休館しました。再開後も、施設利用者の感染症対策を優先したため、移転後の利用者ニーズについて、意見等の収集は実施できませんでした。</li> <li>○深大寺老人憩の家の団体利用者等へ、BRANCH（ランチ）調布及びふじみ交流プラザについて説明会を実施しました。</li> <li>○新たに設置する公共施設の条例（調布市ふじみ交流プラザ条例）を制定しました。</li> <li>○施設の活用に向けた、地域も含めた協議会の設置に向け、協議会のイメージや会則等を地域、事業者と検討しました。</li> </ul>

**3 年次評価及び総括**

年次評価	【今年度の総括（評価の理由、取組による成果・効果）、次年度以降の取組の方向性】（CHECK・ACTION）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の活用に向け、地域も含めた協議会を設置する必要があります。</li> <li>○深大寺老人憩の家の移転後の機能において、運営方法や利用方法等を検討していきます。</li> <li>○クリーンセンター移転後の跡地活用に関する官民連携事業として、民間事業者が整備した新たな施設が竣工し、あわせて新たな公共施設「ふじみ交流プラザ」の設置条例を制定しました。</li> <li>○今後は北部地域のにぎわいやコミュニティの充実に向け、民間施設部分のコミュニティスペース等の活用を図るために協議会の設置・運営を行っていく必要があります。</li> </ul>